

# 指導内容の報告について

実習内容報告書(実習指導者用)の記載内容について

第4号様式「実習報告書」	P.79
第4号-1様式「実習内容報告書(指導者用)」	P.80
第5号様式(実績証明書の発行が必要な場合)	P.71
「実習内容報告書(実習生用)」の写し	—
実習指導料を証する書類(領収書等)の写し	—

**社会福祉法人愛知県社会福祉協議会**

**介護支援専門員研修新カリキュラムワーキング  
チーム**

※記載例  
P.80

第4号-1様式

実習内容報告書(実習指導者用) 1/3

受講生番号 123456

登録事業所番号 1609999

実習生氏名 愛知 花子

ご指導いただきました受講生について、ご回答ください。

	基本姿勢(実習生について)	実習指導者よりコメント
1	服装・身だしなみ	服装・身だしなみは適切でした。 ゆっくり丁寧な言葉づかいで、あいさつもしっかりできていました。 守秘義務は問題なく対応されていました。 質問を多くされ積極的に取り組まれていました。
	言葉づかい・コミュニケーション	
	守秘義務	
	実習に取り組む姿勢	

2 全体評価(この実習生について)
訪問先で、ご自身の勤める事業所の利用者さん宅へ同行するという場面がありましたが、適切な対応をされていました。実習に入る前に予習をされ、しっかりと学ぶ姿勢が伝わってきました。聞き取りした内容をしっかりとアセスメントシートに記入することもできましたが、プラン作成まで行うことができず、持ち帰りとなっています。サービス担当者会議やモニタリングの場面では、訪問前にプラン作成のプロセスを理解していただけたと思います。

3 受入事業所としての検討課題
調整の難しさや資料の準備などを考えると次年度に向けて検討する必要があると思いました。

4 次年度以降の実習に向けての改善要望など
訪問先の利用者さんに個人情報使用承諾書に記入頂いたりしました。また、実習生さんに誓約書も書いて頂きました。

実習施設名 Y事業所

事業所管理者 福祉 一郎 (直筆)

包括・特定事業所加算(I II III A 無)

担当主任介護支援専門員  
(実習指導者) 福祉 太郎 (直筆)

実習生氏名 愛知 花子

受講生番号 123456

1	基本姿勢	心がけたこと		
	服装・身だしなみ	実習を行うのにふさわしい服装、また派手すぎず動きやすい服装を意識しました。		
	言葉づかい・コミュニケーション	初対面の方には、特に大きな明るい声で挨拶しました。御礼の言葉は、必ず行いました。		
	守秘義務	実習先が地元なので知り合いの方もみえました。情報交換の線引きに気をつけました。		
	実習に取り組む姿勢	私は、他の方よりも知識、経験が浅いので、とにかく教科書を読み予習復習しました。		
2	実習場面	指導日時・場所	現場でみて感じた事や見習いたいと思った事	※指導者からのコメントを 実習生が記載してください
①	インテーク (同行・説明)	RO/O/O 10:20-10:40 事業所内	耳で聞くだけの説明と目で見ながらの説明は、どれだけ理解度が違うのかということがよく分かりました。また、相手方に分かりやすくはっきりと説明できる人になりたいと思いました。	まず制度のことを理解し、地域のインフォーマルサービスについてしっかり理解し、丁寧な対応が求められます。
	事例記号	RO/O/O 15:00-18:00 利用者宅及び事務所		
	A・B・C D・E・F・G			
②	アセスメント (同行・説明)	RO/O/O 10:40-11:00 事業所内	チェックポイントシート、ICF、主治医意見書、課題整理総括票等、様々な様式を活用して行うことが必要。また、質問内容によって聞き出したいことも変わってくるのでよく考えて質問したいです。	訪問前に認定情報など目を通し、必要な情報をケアマネ自身が考える作業も大切に。短い時間を有効に使う必要があります。
	事例記号	RO/O/O 15:00-18:00 事業所内 利用者宅		
	A・B・C D・E・F・G			
③	ケアプラン作成 (説明)	RO/O/O 11:00-11:20 事業所内	居宅サービス計画に用いられるのは7種です。その人の望む暮らしをどのような方法で達していくのか、何を目標していくのか等、きちんと予測できるようにして計画作成したいです。	達成可能な目標や評価のできる目標設定を意識し、利用者さんやご家族と一緒に考えていきましょう。
	事例記号			
	A・B・C D・E・F・G			
④	サービス担当者 会議 (同行・説明)	RO/O/O 11:20-11:40 事業所内	和やかな雰囲気を作り上げた中から、本題へと上手に切り替えができる人になりたいです。また、質問の中には、これからの生活変化の予測も含まれることが分かりました。	日頃の関係づくりもとても大切です。事業所間での信頼関係も大切にしてください。
	事例記号	RO/O/O 9:00-12:00 利用者宅		
	A・B・C D・E・F・G			

※「1.実習②実習日誌」を作成したうえで、この報告書に記載してください。

※「※指導者からのコメント」欄は、実習場面を担当した指導者との振り返り内容を受講生が記入してください。

様式はP68~70、記載例はP80~82 にあります。

No.	実習場面 (同行・説明) どちらかに○	実習指導の内容やポイント
記入例	(例) インテーク (同行) (説明)	利用者のカルテを見ながらインテークの経緯・状況について説明した。指導のポイントに留意し、実習生に確認つつ説明を行なった。 実習日誌で確認するとおおむね理解していることが確認できた。
	使用事例 A・B・C・D E・F・G	
実習①で作成した 模擬ケアプラン		どういふふうに作成したかを聞き、確認しながらケアプラン作成にあたってのアドバイスをした。
	事務所オリエンテーション (説明)	事業所の歩みなど説明(パンフレット等使用) DVDを観て説明する。 実習費受領、スケジュール確認 個人情報の取扱い説明、誓約書への記入・回収
①	インテーク 【契約及び重要事項説明】 (同行) (説明) 使用事例 A・B・C・D E・F・G	介護保険制度の説明(利用開始までの流れ等) 契約時の書式を使用し内容説明をする。 初期面接相談に同行 利用者さんや家族の理解度に合わせて説明の方法を考える必要等を伝える。
②	アセスメント (同行) (説明) 使用事例 A・B・C・D E・F・G	様式を用いて説明 状態把握。ご本人やご家族の意向確認 生活歴など聞き取りを行う場面に同席 ポイントを絞って聞く場合や、生活歴を聞く場合とは質問の方法が違う事を伝える。 質問だけでなく、家の様子、明るさや温度など環境についてもアセスメントが必要である事を伝える。

※事例が複数にわたる等、記入枠が足りない場合は、表を拡張してください。  
※第4号様式に添付してください。

- 【※事例一覧】 受講生が後期研修で学ぶ事例(テキスト第15章)
- A 脳血管疾患のある方のケアマネジメント
  - B 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
  - C 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
  - D 心疾患のある方のケアマネジメント
  - E 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
  - F 看取りに関する事例
  - G 地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント

1	基本姿勢	心がけたこと		
	服装・身だしなみ	実習を行うのにふさわしい服装、また派手すぎず動きやすい服装を意識しました。		
	言葉づかい・コミュニケーション	初対面の方には、特に大きな明るい声で挨拶しました。御礼の言葉は、必ず行いました。		
	守秘義務	実習先が地元なので知り合いの方もみえました。情報交換の線引きに気をつけました。		
	実習に取り組む姿勢	私は、他の方よりも知識、経験が浅いので、とにかく教科書を読み予習復習しました。		
2	実習場面	指導日時・場所	現場でみて感じた事や見習いたいと思った事	※指導者からのコメントを 実習生が記載してください
①	インテーク (同行) (説明)	RO/O/O 10:20-10:40 事業所内	耳で聞くだけの説明と目で見ながらの説明は、どれだけ理解度が違うのかということがよく分かりました。また、相手方に分かりやすくははっきりと説明できる人になりたいと思いました。	まず制度のことを理解し、地域のインフォーマルサービスについてしっかり理解し、丁寧な対応が求められます。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G	RO/O/O 15:00-18:00 利用者宅及び事務所		
②	アセスメント (同行) (説明)	RO/O/O 10:40-11:00 事業所内	チェックポイントシート、ICF、主治医意見書、課題整理総括票等、様々な様式を活用して行うことが必要。また、質問内容によって聞き出したいことも変わってくるのでよく考えて質問したいです。	訪問前に認定情報など目を通し、必要な情報をケアマネ自身が考える作業も大切に。短い時間を有効に使う必要もあります。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G	RO/O/O 15:00-18:00 事業所内 利用者宅		
③	ケアプラン作成 (説明)	RO/O/O 11:00-11:20 事業所内	居宅サービス計画に用いられるのは7種です。その人の望む暮らしをどのような方法で達していくのか、何を目指していくのか等、きちんと予測できるように計画作成したいです。	達成可能な目標や評価のできる目標設定を意識し、利用者さんやご家族と一緒に考えていきたいと思います。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G			
④	サービス担当者 会議 (同行) (説明)	RO/O/O 11:20-11:40 事業所内	和やかな雰囲気を作り上げた中から、本題へと上手に切り替えができる人になりたいです。 また、質問の中には、これからの生活変化の予測も含まれることが分かりました。	日頃の関係づくりもとても大切です。事業所間での信頼関係も大切にしてください。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G	RO/O/O 9:00-12:00 利用者宅		

※「1.実習②実習日誌」を作成したうえで、この報告書に記載してください。

※「※指導者からのコメント」欄は、実習場面を担当した指導者との振り返り内容を受講生が記入してください。

①	インテーク 【契約及び重要事項説明】 (同行・説明)	介護保険制度の説明(利用開始までの流れ等) 契約時の書式を使用し内容説明をする。  初期面接相談に同行 利用者さんや家族の理解度に合わせて説明の方法を考える必要等を伝える。
	使用事例 A・B・C・D E・F・G	
②	アセスメント (同行・説明)	様式を用いて説明  状態把握。ご本人やご家族の意向確認 生活歴など聞き取りを行う場面に同席 ポイントを絞って聞く場合や、生活歴を聞く場合は質問の方法が違う事を伝える。 質問だけでなく、家の様子、明るさや温度など環境についてもアセスメントが必要である事を伝える。
	使用事例 A・B・C・D E・F・G	

実習内容報告書(実習指導者用) 3/3

【評価尺度】 指導者としての実施状況について、自己評価を記入してください。

4:十分できた 3:ある程度できた 2:一部課題が残った 1:できなかった

No.	実習場面 (同行・説明) どちらかに○	実習指導の内容やポイント
③	ケアプラン作成 (説明)	様式を用いて説明  利用者さんの望む暮らしを実現するために、評価できる具体的な短期目標の設定を考えるなどプラン作成のポイントについて伝える。
	使用事例 A・B・C・D E・F・G	

1	基本姿勢	心がけたこと	
	服装・身だしなみ	実習を行うのにふさわしい服装、また派手すぎず動きやすい服装を意識しました。	
	言葉づかい・コミュニケーション	初対面の方には、特に大きな明るい声で挨拶しました。御礼の言葉は、必ず行いました。	
	守秘義務	実習先が地元なので知り合いの方もみえました。情報交換の線引きに気をつけました。	
実習に取り組む姿勢		私は、他の方よりも知識、経験が浅いので、とにかく教科書を読み予習復習しました。	
2	実習場面	指導日時・場所	現場でみて感じた事や見習いたいと思った事 ※指導者からのコメントを実習生が記載してください
①	インテーク (同行・説明)	RO/O/O 10:20-10:40 事業所内	耳で聞くだけの説明と目で見ながらの説明は、どれだけ理解度が違うのかということがよく分かりました。また、相手方に分かりやすくははっきりと説明できる人になりたいと思いました。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G	RO/O/O 15:00-18:00 利用者宅及び事務所	
②	アセスメント (同行・説明)	RO/O/O 10:40-11:00 事業所内	訪問前に認定情報など目を通し、必要な情報をケアマネ自身が考える作業も大切に。短い時間を有効に使う必要もあります。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G	RO/O/O 15:00-18:00 事業所内 利用者宅	
③	ケアプラン作成 (説明)	RO/O/O 11:00-11:20 事業所内	居宅サービス計画に用いられるのは7種です。その人の望む暮らしをどのような方法で達していくのか、何を目指していくのか等、きちんと予測できるように計画作成したいです。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G		
④	サービス担当者 会議 (同行・説明)	RO/O/O 11:20-11:40 事業所内	和やかな雰囲気を作り上げた中から、本題へと上手に切り替えができる人になりたいです。また、質問の中には、これからの生活変化の予測も含まれることが分かりました。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G	RO/O/O 9:00-12:00 利用者宅	

※「1.実習②実習日誌」を作成したうえで、この報告書に記載してください。

※「※指導者からのコメント」欄は、実習場面に担当した指導者との振り返り内容を受講生が記入してください。

【評価尺度】 指導者としての実施状況について、自己評価を記入してください。

4:十分できた 3:ある程度できた 2:一部課題が残った 1:できなかった

No.	実習場面 (同行・説明) どちらかに○	実習指導の内容やポイント
③	ケアプラン作成 (説明)	様式を用いて説明
	使用事例 A・B・C・D E・F・G	利用者さんの望む暮らしを実現するために、評価できる具体的な短期目標の設定を考えるなどプラン作成のポイントについて伝える。
④	サービス担当者 会議 (同行・説明)	様式を用いて説明 会議前にフェースシートやアセスメント、支援経過などを読んでいただく。担当者会議で検討する内容についてのポイントを事前に伝える。 サービス担当者会議の同行
	使用事例 A・B・C・D E・F・G	事業所にてサービス担当者会議の要点の作成 利用者さんが自分の気持ち等を話しやすいような会議の運営や、サービス事業所と目標を確認する必要性を伝える。
⑤	モニタリング (同行)	Oさん宅にて本人、妻の状況確認及び訪問介護のサービス提供場面の様子を確認する。 Fさん宅にて、本人の状況確認や介護者の健康状態の確認を行う。
	使用事例 A・B・C・D E・F・G	訪問前にケースファイルを読みながらケース概要説明 → 訪問 → モニタリングで気がついた事などをモニタリング用紙に記入 訪問の際に確認するポイントを意識することや、月1回の訪問だけでは変化の確認ができないので、訪問介護などサービス事業者にあらかじめチェックするポイントを伝えて連携をしている事などを伝える。
⑥	給付管理業務 (説明)	利用票に実際に利用したサービスの実績を使用し給付管理を説明する。1ヶ月の流れの説明と国保連入の手続き(送信)までを見てもらう。

【注意事項】

※事例が複数にわたる等、記入枠が足りない場合は、表を拡張してください。

※第4号様式に添付してください。

※モニタリングについては、  
同行訪問を実施してください。

実習生氏名 愛知 花子

受講生番号 123456

2	実習場面	指導日時・場所	現場でみて感じた事や見習いたいと思った事	※指導者からのコメントを 実習生が記載してください
⑤	モニタリング (同行)	RO/O/O 11:40-13:00 利用者宅 14:00-16:00 事業所内 RO/O/O 13:00-15:00 利用者宅及び事業所	1回/ヶ月のモニタリングであっても、必要に応じて不定期の訪問があるということが、同行することによって分かりました。フットワークの軽いケアマネジャーになりたいです。	毎日変化があると思ってください。いつでも対応できることで安心や信頼につながっていきます。
	事例記号 A・B・C D・E・F・G			
⑥	給付管理業務 (説明)	RO/O/O 13:00-15:00 事業所内	実際に利用票に実績を付けてみましたが、1行ずれると大変なことになったことが分かりました。また、予定になかったものが実績にあがる等注意すべき点がたくさんあることに気づきました。	1ヶ月ごとの利用をみるとその人の暮らしや生活をみることもできます。しっかり行う作業です。

(参考)事例記号(後期研修で学ぶ事例:テキスト第15章)

- A 脳血管疾患のある方のケアマネジメント
- B 認知症のある方及び家族を支えるケアマネジメント
- C 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
- D 心疾患のある方のケアマネジメント
- E 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
- F 看取りに関する事例
- G 地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント

実習の振り返りの感想

モニタリング、サービス担当者会議と、現場同行の実習を実際に体験して、質問する裏には様々な意図があることがわかりました。特に、これからの利用者の生活変化の予測を考えて行動することができるには、たくさんの経験を通して身になると思うので、私ももっと多くの勉強をして利用者の立場で考えられるケアマネジャーになりたいです。

実習指導者からのコメント(この欄のみ実習指導者本人が記載してください。)

いろいろな場面で質問などされ、積極的に実習に取り組む姿勢が伝わってきました。サービス提供事業所のスタッフとして、今後ケアプランの見方や利用者さんの生活を知る大切さも学んでいたかと思います。これから広い視野を持ち、いろいろなことを吸収しながら、ケアマネとしての仕事にもトライしてってください。お勤めしながらの実習で時間のない中、頑張っていたらと思います。

実習施設名 Y事業所

事業所管理者 福祉 一郎 (直筆)

包括・特定事業所加算(I II III A(無))

担当主任介護支援専門員  
(実習指導者) 福祉 太郎 (直筆)

<受講生様へ>

※演習第4日目に提出してください。

※「※指導者からのコメント」欄は、実習場を担当した指導者との振り返り内容を受講生が記入してください。

※実習場面によっては「指導者」と「実習指導者(担当主任介護支援専門員など)」が一致しない場合もあります。

<実習受入事業所様へ>

※受入事業所は、「実習②実習内容報告書(実習生用)1/2・2/2」の控え(コピー)を必ず取り、その写しを第4号様式に添付してください。

# 実習②実習日誌

※記載例

P.83

実習日 ○○年 ○月 ○日( ) 実習(1)日目

受講生氏名 愛知 花子

受講生番号 123456

今日の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネの仕事内容や流れを把握する。</li> <li>・モニタリング様式の記入方法を習得する。</li> <li>・サービス担当者会議の進行の仕方を習得する。</li> </ul>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実習場面: ①インテーク、②アセスメント、③ケアプラン作成、④サービス担当者会議、⑤モニタリング、⑥給付管理、⑦その他

実習場面	時間、場所、内容 (時系列順に記入してください)	実施場面での気付き
① ⑦	10:00~10:20 事業所 オリエンテーション 施設説明(パンフレット) 「インテーク」の説明	今から実習でお世話になる事業所は、ある程度知っていましたが、今回の詳しい説明により、さらに事業所についてわかるようになり、親近感を持つことができよかったです。
② ③ ④	10:20~11:40 事業所 「アセスメント」 「プランニング」 「サービス担当者会議」の説明	契約利用書を実際の目で見ることによって理解が深まりました。ずっと1人で読むだけでは時間がかかるので、一緒に読んで確認する大切さを知りました。また、その方、その方の個性や性格によって、説明方法を変えていく必要性もわかりました。
⑤	11:40~13:00 モニタリング利用者様宅 「モニタリング」利用者様からの聞き取り 13:00~14:00 事業所 昼食休憩 14:00~16:00 事業所 モニタリング振り返りと記録 16:00~17:00 事業所 実習日誌と振り返り	インスリン管理の確認も含め、正午前後の時間に設定されたことは、相手に合わせるということが大事です。ヘルパーさんの見守りの中でありましたが、実際の目で見ることができてよかったです。

担当者と共にやった振り返り内容  次回実習内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングに訪問した利用者様だけでなく、そのご家族もフォローしていくことを考えました。声をかけるのは当然ですが、何故声かけが必要なのか、その方の心の声を聞くということも考えました。</li> <li>・ベッドは、介護保険の福祉用具貸与だけでなく、自費でのレンタルベッドも使用されていました。これからは、そのような民間企業が増えていくのでは？とわかりました。</li> </ul>
--------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※場面ごと、または実習日ごとに作成してください。

※演習4日目に本人控え(原本)を持参してください。(事務局及び講師への提出は不要です。)

※「担当者と共にやった振り返り内容」は、指導者との振り返りをした内容を受講生が記入してください。

受講生番号 123456

登録事業所番号 1609999

実習生氏名 愛知 花子

ご指導いただきました受講生について、ご回答ください。

	基本姿勢(実習生について)	実習指導者よりコメント
1	服装・身だしなみ	服装・身だしなみは適切でした。 ゆっくり丁寧な言葉づかいで、あいさつもしっかりできていました。 守秘義務は問題なく対応されていました。 質問を多くされ積極的に取り組まれていました。
	言葉づかい・コミュニケーション	
	守秘義務	
	実習に取り組む姿勢	

2 全体評価(この実習生について)

訪問先で、ご自身の勤める事業所の利用者さん宅へ同行するという場面がありましたが、適切な対応をされていました。実習に入る前に予習をされ、しっかりと学が姿勢が伝わってきました。聞き取りした内容をしっかりとアセスメントシートに記入することもできましたが、プラン作成まで行うことができず、持ち帰りとなっています。サービス担当者会議やモニタリングの場面では、訪問前にプラン作成のプロセスを理解していただけだと思います。

3 受入事業所としての検討課題

調整の難しさや資料の準備などを考えると次年度に向けて検討する必要があると思いました。

4 次年度以降の実習に向けての改善要望など

訪問先の利用者さんに個人情報使用承諾書に記入頂いたりしました。また、実習生さんに誓約書も書いて頂きました。

実習施設名 Y事業所

事業所管理者 福祉 一郎 (直筆)

包括・特定事業所加算 ( I II III A  無 )

担当主任介護支援専門員  
(実習指導者) 福祉 太郎 (直筆)

実習生氏名 愛知 花子

受講生番号 123456

2	実習場面	指導日時・場所	現場でみて感じた事や見習いたいと思った事	※指導者からのコメントを 実習生が記載してください
⑤	モニタリング (同行)	RO/O/O 11:40-13:00 利用者宅 14:00-16:00 事業所内 RO/O/O 13:00-15:00 利用者宅及び事業所	1回/ヶ月のモニタリングであっても、必要に応じて不定期の訪問があるということが、同行することによって分かりました。また、予定になかったものが実績にあがる等注意すべき点がたくさんあることに気づきました。	毎日変化があると思うてください。いつでも対応できることで安心や信頼につながっていきます。
	事例記号 A B・C D E・F・G			
⑥	給付管理業務 (説明)	RO/O/O 13:00-15:00 事業所内	実際に利用票に実績を付けてみましたが、1行ずれると大変なことになって分かりました。また、予定になかったものが実績にあがる等注意すべき点がたくさんあることに気づきました。	1ヶ月ごとの利用をみるとその人の暮らしや生活を見ることもできます。しっかり行う作業です。

(参考)事例記号(後期研修で学ぶ事例:テキスト第15章)

- A 脳血管疾患のある方のケアマネジメント
- B 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
- C 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
- D 心疾患のある方のケアマネジメント
- E 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
- F 看取りに関する事例
- G 地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント

実習の振り返りの感想

モニタリング、サービス担当者会議と、現場同行の実習を実際に体験して、質問する裏には様々な意図があることがわかりました。特に、これからの利用者の生活変化の予測を考えて行動することができるには、たくさん経験を通して身になると思うので、私ももっと多くの勉強をして利用者の立場で考えられるケアマネジャーになりたいです。

実習指導者からのコメント(この欄のみ実習指導者本人が記載してください。)

いろいろな場面で質問などされ、積極的に実習に取り組む姿勢が伝わってきました。サービス提供事業所のスタッフとして、今後ケアプランの見方や利用者さんの生活を知る大切さも学んでいただけたと思います。これから広い視野を持ち、いろいろなことを吸収しながら、ケアマネとしての仕事にもトライしていきましょう。お勤めしながらの実習で時間のない中、頑張っていたと思います。

実習施設名 Y事業所

事業所管理者 福祉 一郎 (直筆)

包括・特定事業所加算 ( I II III A  無 )

担当主任介護支援専門員  
(実習指導者) 福祉 太郎 (直筆)

<受講生様へ>

- ※演習第4日目に提出してください。
- ※「※指導者からのコメント」欄は、実習場面を担当した指導者との振り返り内容を受講生が記入してください。
- ※実習場面によっては「指導者」と「実習指導者(担当主任介護支援専門員など)」が一致しない場合もあります。

<実習受入事業所様へ>

※受入事業所は、「実習②実習内容報告書(実習生用)1/2・2/2」の控え(コピー)を必ず取り、その写しを第4号様式に添付してください。